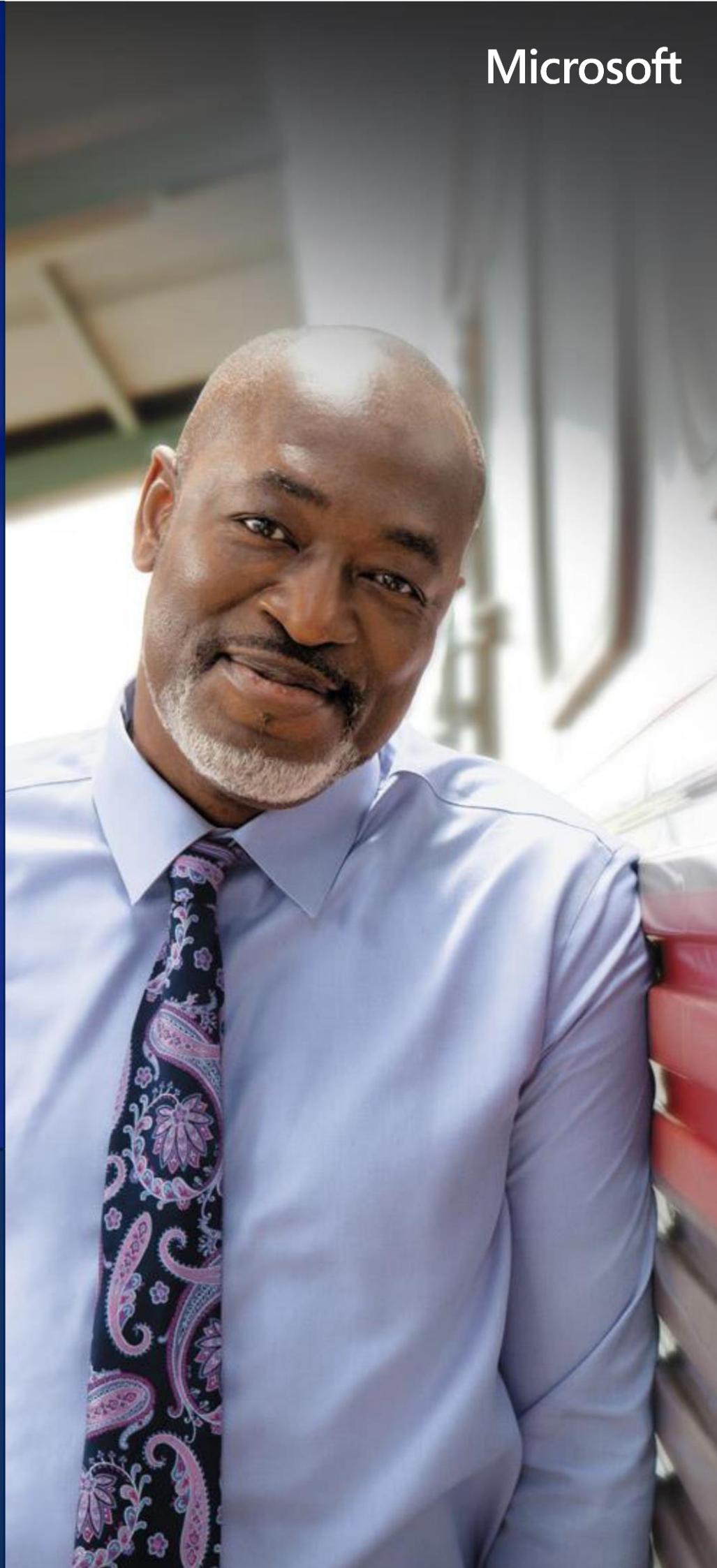


Microsoft

Microsoft
Dynamics AX
2012 R3

ライセンスと
価格ガイド



このガイドの使い方

このガイドは、Microsoft Dynamics AX 2012 のライセンスについて、理解を深めるためにお使いください。このガイドの内容は、Microsoft Dynamics NAV、Microsoft Dynamics GP、Microsoft Dynamics SL、以前のバージョンの Microsoft Dynamics AX には適用されません。これは Microsoft Dynamics 製品やサービスを選択するためのガイドではありません。このガイドで示しているサンプルは、例示を目的としたものです。Microsoft Corporation は、予告なく本書の既存のバージョンを改訂または更新する権利を有します。

特定の製品やシナリオのライセンス条件など、特定の組織に適したテクノロジー ソリューションの選定については、Microsoft Dynamics 認定パートナーまたは Microsoft アカウント チームにお問い合わせください。

このガイドは、Microsoft 製品の使用权を定めた法的書類より優先されることはなく、これらに置き換わるものでもありません。特定製品のライセンス条項は、[Microsoft Dynamics AX の Web サイト](#)にあるソフトウェア ライセンス条項 (SLT) ドキュメントと、[ボリューム ライセンスの Web サイト](#)にある製品条項 (PT) に詳しく記載されています。

ライセンス キーとライセンス資格

重要になるのは、ライセンス キー (アクティベーション キー) とライセンス資格の区別です。ライセンス キーとは、お客様が使用許諾を受けた Microsoft Dynamics ソフトウェアをアクティブ化するために使用するものです。ライセンス資格とは、お客様が何かを実行および使用する権利であり、その対象は SLT および PT に説明されているとおり、お客様が取得したライセンスに基づいて決まります。

目次

Microsoft Dynamics AX 2012 R3 のライセンス形態	3
このライセンス ガイドの更新点	3
基本ライセンス条件	4
MICROSOFT DYNAMICS AX 2012 R3 ソリューション機能のライセンス	4
Microsoft Dynamics AX 2012 R3 ソリューション機能へのアクセス許諾	5
Microsoft Dynamics コンパニオン アプリのライセンス	6
業種別のライセンス ガイド	6
Microsoft Azure のライセンス	7
外部ユーザーによるアクセス	7
CAL の再割り当て	8
マルチプレキシング	8
ソリューションのスコーピング	10
セキュリティ ロールに基づいたスコーピング	11
ライセンス数見積もりツール	13
Microsoft Dynamics AX 2012 R3 ライセンスの販売形態	13
マイクロソフト ボリューム ライセンス	13
ビジネス バリュー ライセンス (BVL)	15
サービス プロバイダー ライセンス アグリーメント (SPLA)	16
関連資料	17
付録 I - カスタマイズとライセンス条件	18
付録 II - 追加ソフトウェアのライセンス	20
付録 III - 適切なライセンスの確認	21
付録 IV - CAL レベル別セキュリティ ロール	23

Microsoft Dynamics AX 2012 R3 のライセンス形態

Microsoft Dynamics AX 2012 では、マイクロソフトの Enterprise Agreement (EA) 向けに最適化された、強力かつ柔軟で競争力の高いライセンス モデルを採用しています。このテーマに沿って、使い慣れた Microsoft サーバー/CAL ライセンス モデルを使用したオンプレミス展開が可能になっています。このライセンス モデルでは、刷新的かつシンプルな方法で ERP ソリューションを購入できます。

Microsoft Dynamics AX 2012 R3 モデルは、強力なモデルになるように設計されています。Microsoft Dynamics AX 2012 R3 の機能は、既存機能も最新機能も含めてすべてサーバー ソフトウェアに組み込まれています。これらの強力な機能にアクセスするには、必要とする機能に基づいてユーザーとデバイスにライセンスを割り当てる必要があります。

また、お客様が個々のビジネス ニーズに応じて機能を選択できるように、多層型の柔軟な CAL モデルも作成しました。1 つの展開環境で、さまざまなタイプのユーザーやデバイスを組み合わせて使用することもできます。

マイクロソフトのソリューションは、総保有コスト (TCO) の面でも非常に高い優位性を誇ります。Microsoft Dynamics AX 2012 R3 には多くの機能と付加価値が追加されています。そのため、Microsoft Dynamics AX 2012 の顧客価値の高さに、きっとご満足いただけるはずです。

最後に、Microsoft Dynamics AX 2012 は複数のライセンス プログラムを通じて提供されます。Enterprise Agreement (EA) は、企業のコスト削減に最適なマイクロソフト ボリューム ライセンス プログラムです。大規模な組織を対象とした 3 年間の契約であり、特定のマイクロソフト ソフトウェアのライセンスを割引価格で購入することができます。また、ソフトウェア アシュアランスが有効な間は、ライセンスを取得したマイクロソフト製品の最新バージョンを入手する権利があるため、経常費の効率化にも役立ちます。

このライセンス ガイドの更新点

Microsoft Dynamics AX 2012 R3 のリリースに伴い、このガイドの内容も更新されています。以下に主な更新点をまとめます。

- CAL 使用権の定義を更新
- コンパニオン アプリのライセンス要件を追加
- License Sizing Estimator ツールの説明を追加
- 業種別ライセンス ガイドについて追加
- 付録 IV「CAL レベル別セキュリティ ロール」を更新し、R3 での変更点を反映

以下は、本書の V2 で更新された主な内容のまとめです。

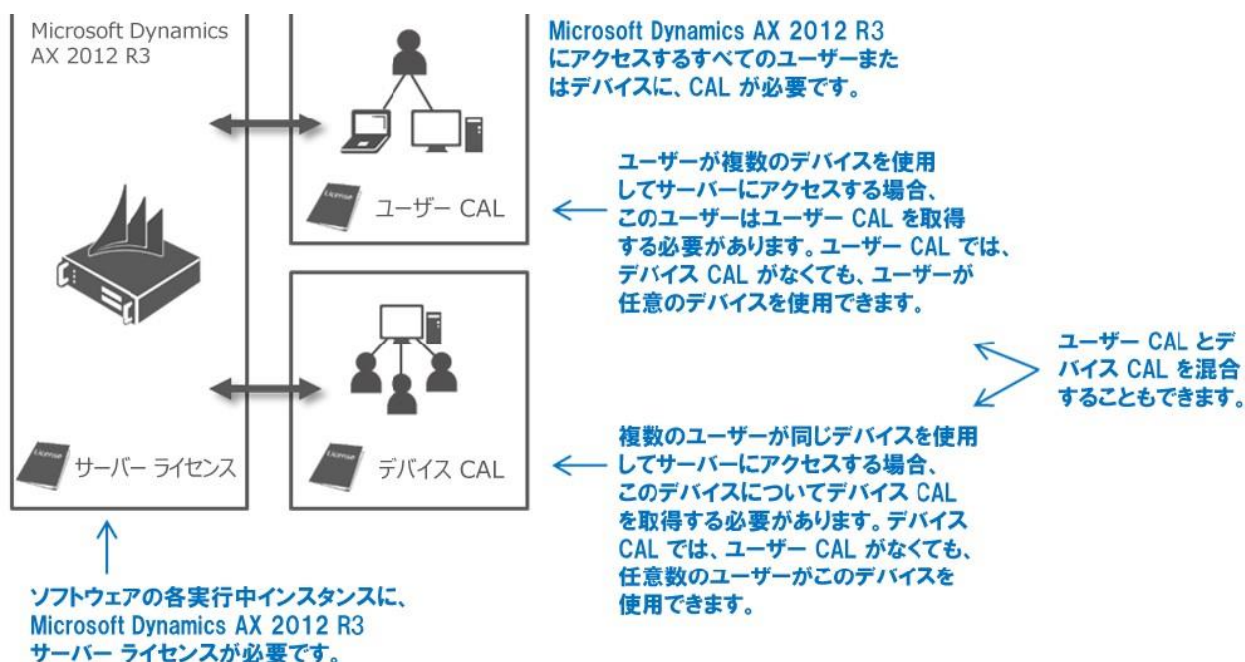
- 小売店舗マネージャーのロールを更新
- 「外部ユーザー」のセクションを編集
- 「マルチプレキシング」セクションへの追加
- HCMFMLAAdministrator ロールを追加

基本ライセンス条件

Microsoft Dynamics AX 2012 R3 のお客様はすべて、以下の許諾を得る必要があります。

- Microsoft Dynamics AX 2012 R3 ソリューション機能の使用に対する許諾。これは、Microsoft Dynamics AX 2012 R3 サーバー ライセンスによって許諾されます。
- ユーザーまたはデバイスから Microsoft Dynamics AX 2012 R3 ソリューション機能への直接的または間接的なアクセスに対する許諾。これは、クライアント アクセス ライセンス (CAL) によって許諾されます。

図 1: サーバー/CAL ライセンス モデル



MICROSOFT DYNAMICS AX 2012 R3 ソリューション機能のライセンス

お客様は、1 つのサーバー ライセンスに基づいて Microsoft Dynamics AX 2012 R3 サーバー ソフトウェアのインスタンスを実行する前に、そのライセンスを、お客様のサーバーのうちの 1 つに割り当てる必要があります。そのサーバーは、その特定のライセンスに関して "ライセンス取得済みのサーバー" と見なされます。お客様は、同じサーバーに他のサーバー ライセンスを割り当てることはできますが、同じライセンスを 2 つ以上のサーバーに割り当てることはできません。ハードウェア パーティションやブレードは、別個のサーバーと見なされます。割り当てる各 Microsoft Dynamics AX 2012 R3 サーバー ライセンスにつき、お客様は一度に、サーバー ソフトウェアの 1 つのインスタンスを、ライセンス取得済みサーバー上の 1 つの物理的または仮想オペレーティング システム環境 (OSE) で実行することができます。サーバー ライセンスには、1 つのアプリケーション オブジェクト サーバーが含まれます。アプリケーション オブジェクト サーバーまたはサーバー インスタンスを追加する場合は、Microsoft Dynamics AX 2012 R3 サーバー ライセンスを追加購入できます。

Microsoft Dynamics AX 2012 R3 ソリューション機能へのアクセス許諾

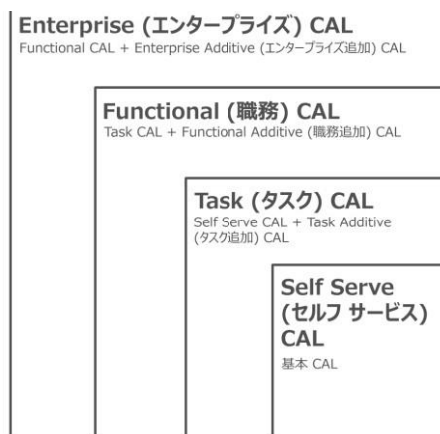
Microsoft Dynamics AX 2012 R3 ソリューション機能へのアクセスは、CAL によって許諾されます。ユーザーが直接的または間接的にソリューションの機能にアクセスする場合は、必ず、そのユーザーにユーザー CAL を割り当てる（特定のユーザーが複数のデバイスからアクセスすることを許諾する）か、使用されるデバイスにデバイス CAL を割り当てる（特定デバイスを介して任意のユーザーがアクセスすることを許諾する）必要があります。

注: CAL を割り当てる必要があるのは、ユーザーまたはデバイスのどちらかであり、両方ではありません。あるデバイスの使用者にユーザー CAL を割り当てた場合、そのデバイスにデバイス CAL は必要ありません。同様に、あるデバイスにデバイス CAL を割り当てた場合は、そのデバイスの使用者にユーザー CAL は必要ありません。

CAL のタイプ

Microsoft Dynamics AX 2012 R3 で選択できる CAL レベルは 4 タイプあり、レベルが高くなるほど広範囲の使用権が許諾されます。ユーザーがソリューションを使用する形態やソリューションから受ける価値に基づいて、柔軟にソリューションのライセンスを購入できるしくみになっています。

図 2: CAL のタイプ



最下位レベルの CAL (Self Serve: セルフ サービス) から最上位レベル (Enterprise: エンタープライズ) の方に進むほど、ソリューションから提供される価値の高いライセンスになります。このためお客様は、ユーザーが組織のために果たしている役割に基づいて、各個人に対する投資レベルを柔軟に決定できます。

Self-Serve CAL (基本 CAL): 従業員に、他の使用者のためではなく自分自身のために次の機能を使用する権利を付与します。(i) 給与処理目的での勤務時間記録、(ii) 立て替え精算目的での経費記録、(iii) 個人情報の管理、(iv) 要求の作成、(v) これらのアクティビティに関連する予算の管理。

Task CAL (Self Serve CAL + Task Additive CAL): 従業員に次の権利を付与します。(i) 勤務時間や経費の記録および承認、(ii) 請求書の承認、(iii) Self Serve 関連トランザクションの承認、(iv) POS デバイスまたは倉庫用デバイスの操作。

Functional CAL (Task CAL + Functional Additive CAL): 従業員に次の権利を付与します。

- 本ソフトウェアが提供する、確立された運用サイクルと業務プロセスの使用
- 次の作成と更新: (i) 職位の要求、または (ii) 申請者、従業員、使用者自身、ベンダー、または部品カタログに関するマスター データ レコード
- 取引マネージャー デバイスの操作
- すべての Task 関連トランザクションおよび Self Serve 関連トランザクションの承認

Enterprise CAL (Functional CAL + Enterprise Additive CAL): 従業員に、ERP ソリューションに含まれるサーバー ソフトウェアの全機能に対する無制限のアクセス権を付与します。

注: 追加式の Additive CAL を取得することで、CAL を上位レベルにアップグレードできます。たとえば、Self Serve CAL から Task CAL にアップグレードするには、Task Additive CAL を取得します。

Microsoft Dynamics コンパニオン アプリのライセンス

コンパニオン アプリが提供する新しいネイティブ デバイス エクスペリエンスは、従業員の作業効率の向上に役立ちます。スマートフォンや Windows 8 タブレットで利用できるコンパニオン アプリの例としては、Time、Expense、Approvals、Business Analyzer などがあります。エンハンスメント プランを契約している場合は、すべての種類のユーザー CAL に、モバイル アプリとデスクトップ アプリからアクセスする権利が含まれています。ユーザー CAL はどの種類であっても、1 ユーザーによる複数のデバイスへのアクセスを許可するため、Microsoft Dynamics AX 製品でタスクを実行するための適切な CAL または SAL をユーザーに割り当てれば良いだけです。Azure サービスを使用する必要があり、Azure のライセンスは別途取得する必要があります。

業種別のライセンス ガイド

倉庫および輸送管理

Microsoft Dynamics AX 2012 R3 には、以前リリースされた倉庫管理 II モジュールと共に、1 つのコンフィギュレーション キーによって有効になる倉庫管理モジュールと輸送管理モジュールが新しく含まれています。1 つのインスタンス、1 つのパーティションによる展開環境では、これらのモジュールの両方ではなく "1 つのみ" に対してコンフィギュレーション キーを有効にする必要があります。1 つのインスタンス、1 つのパーティションによる展開環境で両方のモジュールのコンフィギュレーション キーを有効にすることは、技術的には可能ですがマイクロソフトはサポートしていません。

小売および E コマース

Microsoft Dynamics for Retail は、世界中のあらゆる規模の小売業のお客様が積極的にビジネスを展開できるように支援します。他社との差別化をはかるシームレスなソリューションを通して完全なショッピング エクスペリエンスを提供できます。このソリューションは、モダンでモバイル性が高く、グローバルなソリューションです。POS、店舗運営、マーチャンダイジング、電子商取引、コール センター、マーケティング、顧客ケア、サプライ チェーン、財務などを網羅するエンドツーエンド機能を、個々のビジネスに適した方法で展開できます。Microsoft Dynamics AX 2012 R3 Retail ソリューションの詳細については、[こちらのページ](#)を参照してください。

マイクロソフトは、Microsoft Dynamics AX 2012 R3 でリリースされる優れた新機能に合わせて、小売および電子商取引に特化した新しいライセンス モデルを提供する予定です。これらの最新情報については、[リ](#)

[ソース ライブラリ](#)を参照してください。

公共機関

政府機関や教育機関向けに調整されたエンタープライズ リソース プランニング ソリューションを活用して、財務管理、構成員関係管理、ロジスティクス管理、求人管理などを行うことで、コストを削減し、公的機関の生産性をあらゆる面で向上させることができます。Microsoft Dynamics AX 2012 R3 の公共機関向けソリューションの詳細については、[こちらのページ](#)を参照してください。

また、公共機関向けの業種別ライセンス ガイドについては、[Microsoft Dynamics AX の Web サイト](#)を参照してください。

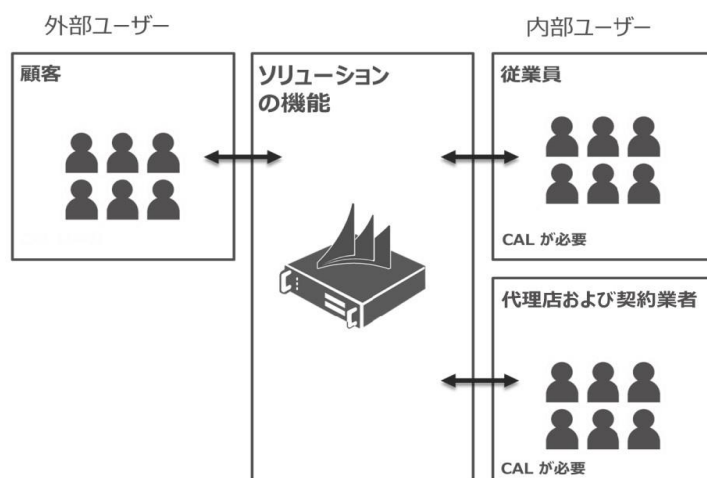
Microsoft Azure のライセンス

Microsoft Dynamics AX 2012 R3 は、Microsoft Azure への展開をサポートしています。Azure ライセンスは、Microsoft Dynamics AX 2012 R3 ライセンスとは別に取得します。これにより、ビジネス ニーズに合わせて柔軟かつ簡単にインフラストラクチャの規模を拡大縮小できるようになっています。Azure の価格については、[こちらのページ](#)を参照してください。

外部ユーザーによるアクセス

お客様の組織または関連会社の従業員、エージェント、契約社員が Microsoft Dynamics AX 2012 ソリューションにアクセスするには、CAL が必要です。お客様の顧客は、CAL がなくても、お客様が提供する Microsoft Dynamics AX 2012 ソリューションにアクセスしてアカウントや注文を管理できます。ただし、顧客が顧客自身の業務の一部を管理するためにお客様のソフトウェアを使用することはできません。上記にかかわらず、Microsoft Dynamics AX 2012 クライアントを介してアクセスする場合は、CAL が必要になります。

図 3: 内部ユーザーと外部ユーザー



CAL の再割り当て

ユーザー CAL かデバイス CAL かにかかわらず、どの CAL も共有不可です。ただし、次の場合に限り、CAL を割り当て直すことができます。

- 人員またはデバイスを恒久的に入れ替えるために、あるユーザーまたはデバイスから別のユーザーまたはデバイスに CAL を恒久的に割り当て直す場合。
- CAL を割り当てられているユーザーが休職中に臨時の従業員に CAL を一時的に割り当て直す場合や、CAL を割り当てられているデバイスが故障中の間に一時的な代替デバイスに CAL を割り当て直す場合。

マルチプレキシング

マルチプレキシングとは、ハードウェアまたはソフトウェアを使用して、接続をプールしたり、情報の経路を変更したり、Microsoft Dynamics AX 2012 R3 ソリューションを利用または使用するデバイスやユーザーの数を減らしたりすることを指します。マルチプレキシングを使用しても、Microsoft Dynamics AX 2012 R3 ソリューションへのアクセスに必要なライセンスの数は減りません。直接か間接かにかかわらず、Microsoft Dynamics AX 2012 にアクセスするユーザーまたはデバイスはすべて、適切なライセンスを取得する必要があります。

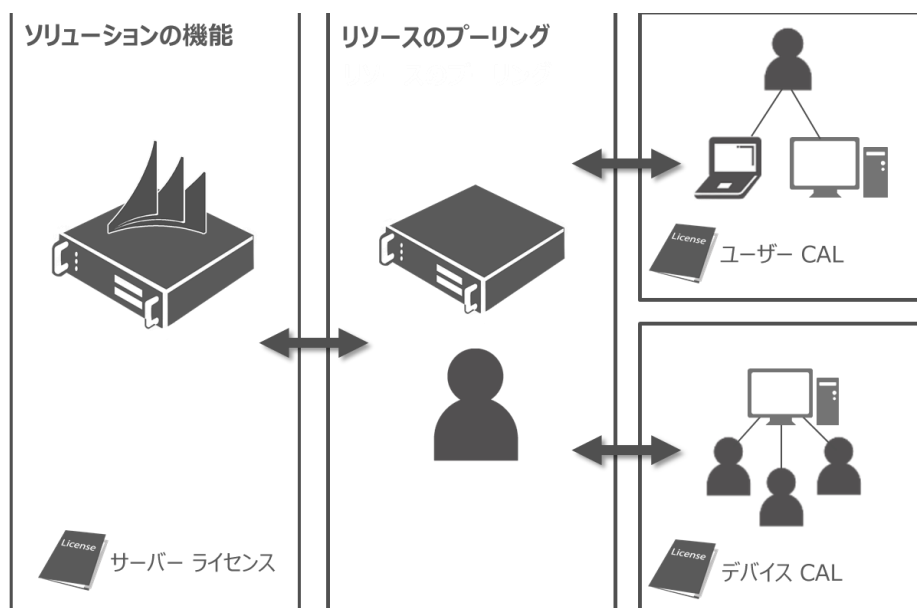
- ユーザーおよびデバイスは、Microsoft Dynamics AX 2012 R3 サーバーへの接続が直接か間接かにかかわらず、適切なライセンスを取得する必要があります。
- サーバーにアクセスするユーザーまたはデバイス、あるいは、自動処理プロセスを介して利用可能になるサーバー提供のファイル、コンテンツ、データにアクセスするユーザーまたはデバイスには、Microsoft Dynamics AX 2012 R3 CAL が必要になります。
- Microsoft Dynamics AX 2012 R3 サーバーと、そのサーバーのデータ、サービス、機能を最終的に使用するユーザーまたはデバイスの間にハードウェアまたはソフトウェアが何層存在しようと、必要な CAL の数は変わりません。

Microsoft Dynamics AX 2012 R3 サーバーに対してデータの入力、照会、参照を直接行うユーザーまたはデバイスには、Microsoft Dynamics AX 2012 R3 CAL が必要になります。同様に、Microsoft Dynamics AX 2012 R3 Server に対してデータの入力、照会、参照をプーリング デバイスを介して行うユーザーまたはデバイスにも、Microsoft Dynamics AX 2012 R3 CAL が必要になります。これには、Web ベースのアプリケーションを介してデータを参照するユーザーまたはデバイス、中間製品を介してデータベースに情報を入力するユーザーまたはデバイスも含まれます

マルチプレキシングの詳細については、マイクロソフト ボリューム ライセンス簡易ガイド「[マルチプレキシング \(多重化\) - クライアント アクセス ライセンス \(CAL\) の要件](#)」を参照してください。

注: ライセンスを取得したユーザーは、(それまでライセンスを持っていなかった場合) Microsoft Dynamics AX 2012 R3 ソリューションに手動で情報を再登録できます。このシナリオはマルチプレキシングと見なされません。

図 4: マルチプレキシング



↑
マルチプレキシングを使用しても、必要な
CAL 数は減りません。

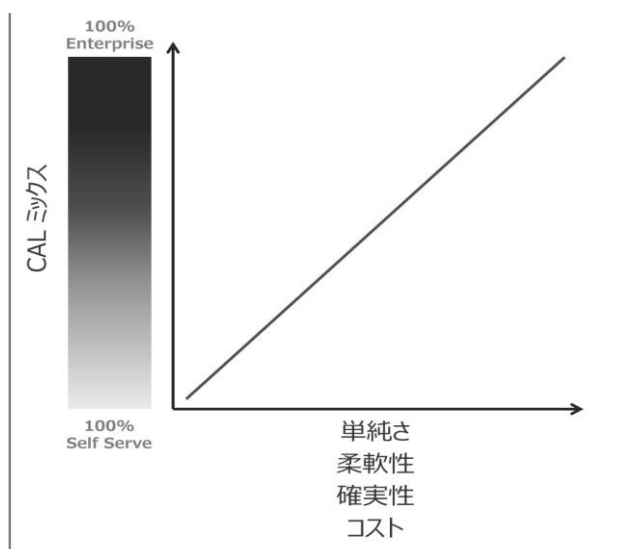
ソリューションのスコ어링

ソリューションのスコ어링の目的は、次の側面のバランスを取りながら、どのように CAL のタイプを混用するかを決定することです。



混用した CAL 中の Enterprise CAL の割合が高くなるほど、4 つの側面でそれぞれの度合いが高くなります。同様に、混用した CAL 中の Enterprise CAL より下位レベルの CAL の割合が高くなるほど、4 つの側面でそれぞれの度合いが低くなります。

図 5: CAL の混用形態が単純さ、柔軟性、確実性、およびコストに与える影響



最適な CAL の混用形態はソリューションごとに異なります。

図 6: CAL 混用形態の例

ミックス A



ミックス B



ミックス C



すべてのユーザーまたはデバイスに Enterprise CAL を割り当てた場合（上に示す混用形態 A）、すべての側面が最高になります。

- ④ **単純さ:** 把握する必要があるのは、ライセンスを割り当てるユーザーまたはデバイスの総数のみです。
- ④ **柔軟性:** すべてのユーザーに、必要なすべての機能へのアクセスを提供できます。
- ④ **確実性:** すべてのユーザーが、すべての機能にアクセスできるライセンスを有していることが明白です。
- ④ **コスト:** Enterprise CAL は価格が最も高くなります。

これは、多くの組織にとって、特に小規模の組織にとって望ましいアプローチです。ユーザー数が比較的少ない状況では、下位レベルの CAL を取得しても、単純さ、柔軟性、および確実性が低下するのに比べて、節約できるコストはごくわずかであるからです。

すべてのユーザーに Enterprise CAL を割り当てると費用が高くなりすぎて購入が阻まれるような大規模組織の場合は、コスト削減のためにトレードオフを受け入れたほうが良い場合があります。極端な例としては、組織内のユーザー一人ひとりを調査し、必要最低レベルの CAL を決定する方法があります。ただし、単純さ、柔軟性、および確実性が大幅に制限されるため、このアプローチはお勧めできません。

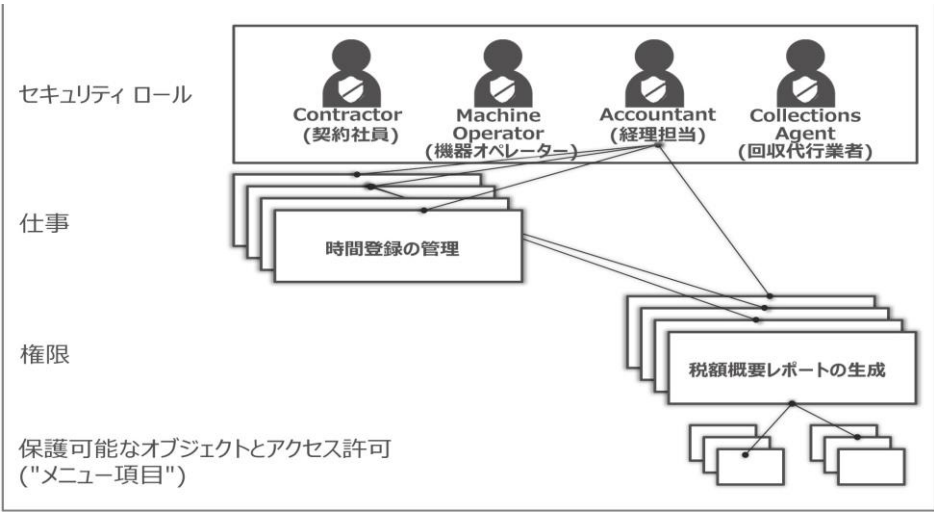
代わりに、セキュリティ ロールに基づいて CAL の混用形態を決定する次のアプローチをお勧めします。

セキュリティ ロールに基づいたスコーピング

セキュリティ ロールについて

ソリューション機能へのアクセスをユーザーに提供する作業は、各ユーザーに 1 つ以上のセキュリティロールを割り当てることによって行います。Microsoft Dynamics AX 2012 R3 のセキュリティ ロールとは、一定の意味に基づいてグループ化されたソリューション機能と、そのロールの関連操作を実行するために必要なアクセス権を組み合わせたものです。

図 7: セキュリティ ロールをユーザーに割り当てると、ソリューション機能へのアクセスが提供される



必要なライセンスがわかりやすいように、Microsoft Dynamics AX 2012 R3 の各セキュリティ ロールにはあらかじめ CAL が設定されています。セキュリティ ロールをユーザーに割り当てると、そのユーザーに必要な CAL がわかります。

たとえば、製造業の組織では、経理担当者、現場監督、およびフィールド サービス技術者に別々の使用権が必要になります。これらのユーザー グループに適切なセキュリティ ロールを割り当てることで、必要な機能がわかり、必要な CAL のタイプもわかります。

図 8: 使用権に基づいた CAL の例

ユーザー例	ユーザー権限	CAL
経理担当	財務	Enterprise CAL
店舗マネージャー	小売の管理	Functional CAL
キャッシャー	POS の操作	Task CAL
すべての従業員	個人 HR 情報の更新	Self Serve CAL

注:

- 1 ユーザーに複数のセキュリティ ロールを割り当てることができます。この場合、必要になる最上位の CAL タイプで、すべてのユーザー権限に対応できます。

- セキュリティ ロールは、柔軟に構成またはカスタマイズできます。ただし、新しいセキュリティ ロールまたは変更したセキュリティ ロールの必須ライセンスが影響を受ける場合があります。このようなカスタマイズによってライセンス条件が影響を受ける状況については、「[付録 I](#)」を参照してください。

セキュリティ ロールおよび関連付けられている CAL の一覧については、「[付録 IV](#)」を参照してください。

ライセンスのカウント

CAL をカウントするためのツールとしてセキュリティ ロールを使用すると、組織内のすべての個人が必要とする CAL を個々に決定しようとする場合に比べて、ずっと簡単で扱いやすいプロセスになります。このアプローチでは、下位レベルの CAL しか必要としないセキュリティ ロールで足りるユーザーのグループと、ライセンス取得済みデバイスでソリューション機能にアクセスするユーザーのグループを特定してから、残りのユーザーすべてについて Enterprise CAL を割り当てます。

以下に、このアプローチに含まれる手順の概要を示します。

- 1 ユーザーの合計数を決めます。
- 2 Self Serve CAL しか必要としないユーザーのグループ (メンテナンス要員など) を決めます。
- 3 このユーザー数から、ライセンス取得済みデバイスを使用して機能にアクセスするユーザー数を引きます。
- 4 その計算結果が、Self Serve ユーザー CAL の必要数です。
- 5 手順 3 でカウントしたユーザーについて、Self Serve デバイス CAL を取得するデバイスの数をカウントします。
- 6 ユーザー CAL とデバイス CAL の数を足して、必要な Self Serve CAL の合計数を計算します。
- 7 Task CAL、Functional (職務) CAL、および Enterprise CAL についても、同じ手順を行います

図 9: ライセンスのカウント例

先ほど説明したアプローチを合計ユーザー数が 900 の組織に当てはめてみましょう。

	1 900 合計ユーザー数	2 150 Self Serve	3 20 ライセンスを取得したデバイスからアクセスするユーザーの数	4 130 必要なユーザー CAL の数	5 5 必要なデバイス CAL の数	6 135 CAL の合計数
Self Serve		150	- 20	= 130	+ 5	= 135
Task		200	- 0	= 200	+ 0	= 200
Functional		300	- 100	= 200	+ 25	= 225
Enterprise		250	- 0	= 250	+ 0	= 250

この方法を使用すると、購入サイクルのプロセスを進めながら、CAL の要件と最終的なコストの微調整を行うことができます。

ライセンス数見積もりツール

[Microsoft Dynamics Lifecycle Services \(LCS\)](#) (英語) は、お客様とお客様のパートナーが、購入前の段階から実装、運用段階にいたるまで Microsoft Dynamics AX プロジェクトを管理するために使用できるクラウドベースのコラボレーション ワークスペースです。このサイトには、お客様のプロジェクトの段階や業種に応じて、プロジェクト管理に役立つチェックリストやツールが用意されています。最新のプロジェクト情報を一元的に確認できるダッシュボードもあります。LCS には、他にもライセンス数見積もりツールなどの多数のツールが用意されています。

ライセンス数見積もりツールは、Microsoft Dynamics のお客様が、組織に必要なさまざまなタイプの CAL の構成を見積もる際に役に立つオンライン ツールです。このサービスは、Microsoft Dynamics AX 2012 R2 以上のライセンスの見積もりをサポートしています。ライセンス数見積もりツールは、以下の面でお客様を支援します。

- 必要なユーザー ライセンスの組み合わせを組織内のロールとアクティビティに基づいて決定し、ライセンスの取得費用を抑える。
- ライセンス要件に基づいて、ロールの職務レベルのカスタマイズの効果をモデル化します。
- 必要なクライアント アクセス ライセンス (CAL) の総数をタイプ別、レベル別に示すレポートを生成する。

Microsoft Dynamics AX 2012 R3 ライセンスの販売形態

Microsoft Dynamics AX 2012 R3 のライセンスは、以下の 3 つのチャネルを通じて提供されます。

図 10: 販売チャネル



それぞれの販売チャネルについて詳細に説明します。

マイクロソフト ボリューム ライセンス



ボリューム ライセンスとは

簡単に言うと、ソフトウェアのボリューム ライセンスでは、手ごろな価格で簡単に、1 つの組織内にある複数のコンピューター上でソフトウェアを実行できるようになります。

ライセンスには、ソフトウェア アシュアランスも含まれています。含まれていない場合は、購入が可能です。ソフトウェア アシュアランスによって包括的なメンテナンスが実現するため、組織はソフトウェアへの投資を最大限に活用できます。ソフトウェア アシュアランスでは、最新のソフトウェアに、電話サポートと IT ツールがセットになっています。

一般的に、ボリューム ライセンス プログラムに参加するには、契約または登録 (またはその両方) に署名し、最低購入条件を満たしたうえで、マイクロソフト製品販売店からライセンスを注文する必要があります

適用可能なボリューム ライセンス プログラム

マイクロソフト ボリューム ライセンスをお持ちのお客様は、Microsoft Enterprise Agreement (EA) に基づき、サーバー/CAL ライセンス モデルで Microsoft Dynamics AX 2012 R3 のサーバー ライセンスおよび CAL を利用できます。

メモ: 一定の条件を満たした教育機関では、LAR から CASA+EES 契約オプションで購入すると、Enrollment for Education Solutions によって Microsoft Dynamics AX 2012 R3 を利用できます。EES の詳細については、[Web サイト](#) を参照してください

EA について

EA では、オンプレミスのソフトウェアとクラウド サービスの中からユーザー ニーズに最も適するものを柔軟に選択し、ビジネスの優先順位の変化に合わせてテクノロジー投資を最適化することができます。

EA のメリットは次のとおりです。



契約に基づくクラウド サービス

EA では、組織の規模に応じて総合的に最善な価格とソフトウェア アシユアランスによるメリットを得ることができ、組織規模の契約によるシンプルなライセンス管理が可能になります。単一の契約で、さまざまなユーザー ニーズに合わせてオンプレミス ソフトウェアとクラウド サービスを柔軟に選択し、テクノロジー投資を最適化して、マイクロソフト製品の購入管理を合理化することができます



ボリューム割引と柔軟な支払いオプション

EA は、PC、デバイス、およびユーザーの数 (またはそれぞれの数) が 250 を超えており、ソフトウェアとクラウド サービスのライセンス期間として 3 年以上を計画している組織に適しています。契約の開始時には、階層型のボリューム割引構造に基づいて価格が決定されます。つまり、組織の規模が大きくなるほど、個々のライセンス価格が低くなります。これに加えて、EA のコストは 3 回の年額支払いに分割できるため、必要な予算を前もって計画できます。また、Microsoft Financing により、単一の投資でソフトウェア、サービス、および機器を組み合わせることのできるカスタムの支払いオプションが提供され、さらに柔軟な支払い方法も選択できます。



コスト効率に優れたライセンスを取得するための登録

EA では、さまざまな加入登録を利用することができます。これらにより、ソフトウェアおよびソリューションを購入する際のコスト効率を大幅に高めることができます。安全で管理の行き届いたデータ センターを構築し、基幹業務アプリケーションのメンテナンスを行い、マイクロソフトの一般的な生産性ソフトウェアおよびこれに相当するクラウド サービスを組織全体の基盤と するなど、組織の重要な目標の達成に役立ちます。

EA 登録

EA 登録によってソフトウェア ライセンスを購入するか、Enterprise Subscription プログラムによってライセンスをサブスクリプションするかを選択できます。EA では、3 年契約に基づいて、標準的なライセンスおよびサブスクリプションより有利な価格が設定されており、この期間に製品やクラウド サービスを追加、調整することもできます。EA の契約期間中に追加された新しいユーザーまたはデバイスは、既に使用されているソフトウェアおよびオンライン サービスを利用できます。このような変更の確認は年に一度、"補正" として知られる年次調整プロセスで行います。

サブスクリプション オプション

EA サブスクリプションには、EA 登録と似た利点があります。サブスクリプションの 3 年契約に基づいて年間コストが低くなり、ライセンスまたはサブスクリプションの数を年間ベースで調整できます。サブスクリプション数を増減できることは、従業員数や IT 要件に大幅な変動が見込まれる場合などに、特に役立ちます。購入したライセンスに応じて永続的使用権を獲得できる EA 登録とは異なり、サブスクリプション プログラムでは、サブスクリプションを維持している間のみ、Microsoft ソフトウェアとクラウド サービスへのアクセスが可能になります。



すべての EA には、オンプレミス ソフトウェアの[ソフトウェア アシユアランス](#)が含まれており、新しいソフトウェア バージョン、展開計画、電話と Web による年中無休 (24 x 7) のサポート、およびトレーニングに加え、Windows Enterprise Edition や Microsoft Desktop Optimization Pack などのユニークなテクノロジーで、組織全体の生産性の引き上げに役立てることができます。また、お使いの Microsoft ソフトウェア環境に最適なレベルのプロアクティブ サポートとリアクティブ サポートを提供する、さまざまなマイクロソフト プレミア サポートを EA に追加できます



マイクロソフト ボリューム ライセンスのお客様は、ライセンスおよび契約管理のオンライン ハブである[ボリューム ライセンス サービス センター \(VLSC\)](#) にアクセスできます。ここでは、ライセンス情報に 1 か所でアクセスし、組織内の契約および購入状況をすべて確認できます。製品およびバージョン別にすべての資格が示されるライセンス サマリーにも容易にアクセスし、割り当てられているすべてのプロダクト キーを確認して、製品をダウンロードできます。

詳細情報

EA の詳細については、マイクロソフト ボリューム ライセンスの [Web サイト](#)を参照してください。

ビジネス バリュー ライセンス (BVL)



BVL により、お客様は Microsoft Dynamics 認定パートナーから直接 Microsoft Dynamics AX 2012 R3 ソリューションを購入できます。パートナーからは、必要なライセンスをサーバー/CAL モデルで購入し、プランニング、実装、カスタマイズ、サポート、およびサービスの提供も受けることができます。 [Microsoft Dynamics 認定パートナーは、こちらでご確認ください。](#)

BVL によるサービスおよびサポート プラン

Microsoft Dynamics サービス プランを利用すると、ERP ソリューションの価値を最大限に高めることができます。このプランのメリットとして、ソフトウェアの新しいバージョンがあればアップグレードでき、修正プログラム、更新プログラム、Service Pack、税制や規制の発表内容などを受け取ることができます。プランの詳細については、 [こちらを参照してください。](#)

ソフトウェア ライセンス条項

ソフトウェア ライセンス条項は、 [Microsoft Dynamics AX の Web サイト](#) からダウンロードできます。

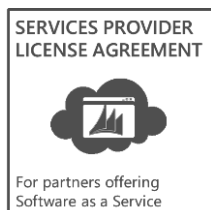
CustomerSource

Microsoft Dynamics [CustomerSource](#) (英語)は、Microsoft Dynamics 製品を使用するお客様のための、パスワード保護されたサイトです。サービス プランのメリットとして含まれている CustomerSource を使用すると、Microsoft Dynamics の強力なサポート技術情報での検索も、Microsoft Dynamics のオンライン トレーニングも利用できます。また、更新プログラムのダウンロードも、その他のタイムリーな情報やリソースへのアクセスも、24 時間いつでも可能です (サインインが必要です)。

Microsoft Dynamics AX 2012 へのアップグレード

以前のバージョンから Microsoft Dynamics AX 2012 R3 にアップグレードするお客様は、現在のライセンス モデルから Microsoft Dynamics AX 2012 R3 で使用されるサーバー/CAL モデルに変更する必要があります。詳しい手順については、[CustomerSource](#) (英語) にある Microsoft Dynamics AX 2012 R3 のアップグレード ポリシーに関するドキュメントを参照してください。

サービス プロバイダー ライセンス アグリーメント (SPLA)



サービス プロバイダー ライセンス アグリーメントについて

マイクロソフト サービス プロバイダー ライセンス アグリーメント (SPLA) は、ホスト型のサービスを提供するサービス プロバイダーが、サービスやホスト型アプリケーションをエンド ユーザーに提供するためにマイクロソフト製品のライセンスを月単位で取得できるようにするものです。サービス プロバイダーの例としては、Web ホスティング事業者、アプリケーション サービス プロバイダー、メッセージング/コラボレーション サービス プロバイダー、プラットフォーム インフラストラクチャ プロバイダー、ビジネス プロセス アウトソーシング事業者、ストリーミング メディア サービス プロバイダー、マイクロソフトの技術を使用してホスト型アプリケーションを実行する独立系ソフトウェア ベンダー (ISV) などがあります。顧客がマイクロソフトのライセンス製品を利用できるようにマイクロソフトのライセンス製品をデバイスに直接インストールする必要があるサービスは、ソフトウェア サービスから除外されます。

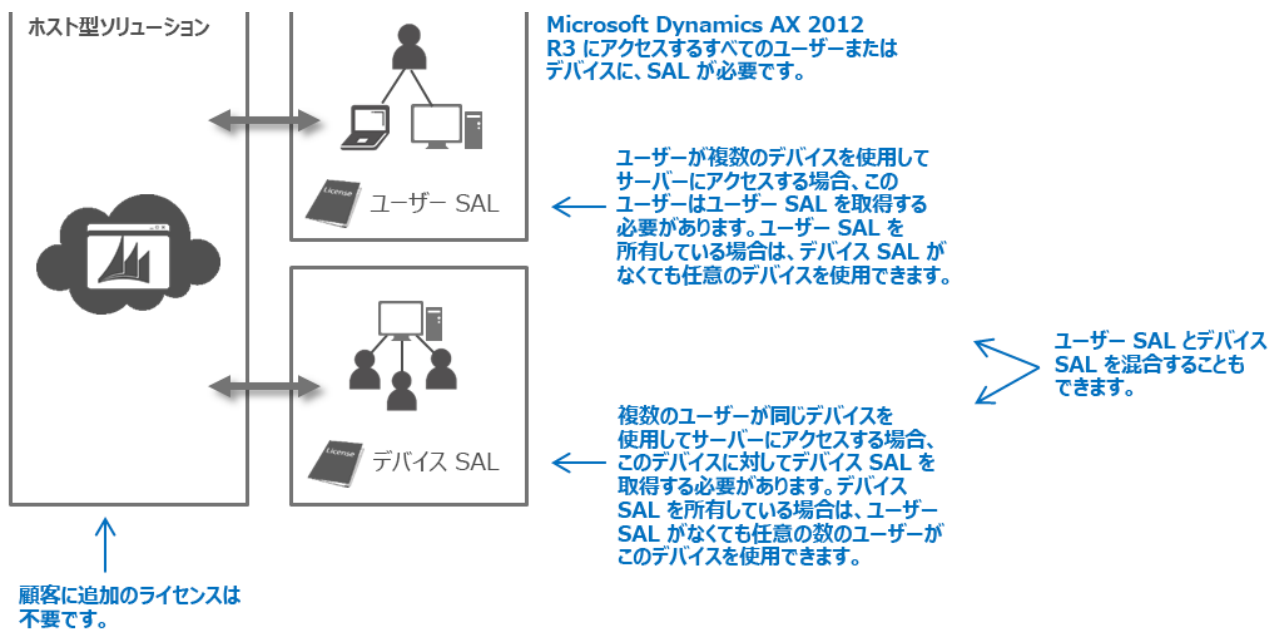
SPLA は、マイクロソフトのライセンス保有者としてソフトウェア サービスを提供するサービス プロバイダーに、サード パーティ商用利用権を提供します。オンプレミス展開のビジネス対応ライセンスとは異なり、SPLA では、ソフトウェア サービスを受けるエンド ユーザー組織がマイクロソフト ライセンスを取得する必要はありません。エンド ユーザーは、サービス プロバイダーの SPLA ライセンスを通じてマイクロソフトのソフトウェア機能を利用する権利を得ます。サービス プロバイダーは、小売店から購入した製品や自社のマイクロソフト ボリューム ライセンスを通じて購入した製品を使用してソフトウェア サービスを提供することはできません。

ライセンス モデル

SPLA のライセンス モデルは、次の点を除き、ボリューム ライセンスやビジネス バリュー ライセンスで使用するサーバー/CAL モデルと同じです。

- SPLA ライセンスは、契約の有効期間中のみ使用できる非永続的 (サブスクリプション) ライセンスです。
- ソリューション機能はお客様側ではなくソリューション プロバイダー側で実行されるため、お客様がサーバー ライセンスを購入する必要はありません。
- SPLA では、CAL ではなくサブスクリイバー アクセス ライセンス (SAL) によってソリューション機能へのアクセスを許諾します。

図 11: SPLA ライセンス モデル



機能変更の可能性

SPLA では、限られた期間、ソフトウェア機能の使用権をリースすることになります。SPLA ライセンスを通じて提供されるソフトウェアは常に最新のバージョンであり、最新の機能が含まれています。時間が経つと、機能が変更されて以前のバージョンは提供されなくなる可能性があります。したがって、特定のバージョンを使用してソリューションを展開した後にライセンス キーを再ダウンロードすると、機能が変更されている場合があります。このため、展開する前に、SPLA のマッピング ガイドラインをよく読み、非運用環境で新しいライセンス キーをテストすることを強くお勧めします。予期せぬ事態を避けるため、Microsoft Dynamics ソフトウェアの既存機能と最新機能の違いを十分に理解してください。

SPLA

SPLA の詳細については、[こちらのページ](#) (英語) を参照してください。

関連資料

製品のローカライズと翻訳に関する情報

Microsoft Dynamics AX の国別機能と現在サポートされているバージョンの言語対応については、[How to buy and deploy Microsoft Dynamics AX](#) を参照してください。

Microsoft Dynamics AX の方向性

マイクロソフトのビジョン、製品戦略、ロードマップについては、[Statement of Direction for Microsoft Dynamics AX](#) (英語) を参照してください。

付録 I - カスタマイズとライセンス条件

Microsoft Dynamics AX 2012 R3 では、すべてのユーザーにそれぞれ適切なエクスペリエンスを提供できるように、フル カスタマイズが可能です。Microsoft Dynamics AX 2012 R3 には 10,000 を超えるメニュー項目があり、これらは 4 つのユーザー タイプにマップされています。ソリューションの展開とライセンス条件の決定を速く容易に行うことができるように、これらのメニュー項目はいずれかのセキュリティ ロールに関連付けられています。

個々のユーザーに必要な CAL は、ユーザーがアクセスする予定のメニュー項目に対応する分類のうち、最も上位の CAL タイプを特定することで決まります。たとえば、"Enterprise" (エンタープライズ) に分類されるメニュー項目へのアクセスを含むロールを Accountant (経理担当) に割り当てた場合、このユーザーには Enterprise CAL が必要になります。"Self Serve" (セルフ サービス) レベルに分類されるメニュー項目は、Self Serve CAL またはこれより上位レベルの CAL を割り当てられたすべてのユーザーが使用できます。以下同様に、たとえば "Task" (タスク) レベルに分類されるメニュー項目は、Task CAL またはこれより上位レベルの CAL を割り当てられたすべてのユーザーが使用できます。

お客様は、さらに組織に合うように、特定の個人または役割がどのアクションを実行できるかという設定を変更できます。カスタマイズ時には、そのユーザーがアクセスする最上位レベルのメニュー項目によって必要なライセンスが決定されることを念頭に置く必要があります

複数のロールを単一ユーザーに割り当てる

Microsoft Dynamics AX 2012 R3 で特定の従業員が実行できるアクションをカスタマイズする最も単純な方法は、その従業員に複数のロールを割り当てることです。たとえば、Customer Service Rep (顧客サービス担当) ロールと Field Technician (フィールド技術者) ロールの両方を 1 人の従業員に割り当てると、この従業員は、これら両方のロールに関連付けられているアクションを実行できます。その場合も、この従業員に必要なのは単一の CAL のみです。Customer Service Rep ロールは Field Technician ロール (Task) より高いユーザー タイプ レベル (Functional: 職務) に指定されているため、この従業員が両方のロールに割り当てられているアクションを実行するために必要なのは、Functional CAL のみです。

ロールに関連付けられているメニュー項目を変更する

ユーザーが実行できるアクションをカスタマイズするもう 1 つの方法は、ロールに割り当てるメニュー項目を変更することです。たとえば、Customer Service Rep ロールを割り当てられているすべてのユーザーが、顧客の与信限度も承認できるようにする場合 (これは Enterprise レベルに指定されているアクションです)、このロールをカスタマイズして "Approve customer credit limit" (顧客の与信限度を承認) というメニュー項目を含めることができます。必要な CAL は、ユーザーが実行できる最上位レベルのアクションによって決定されるため、Customer Service Rep ロールに割り当てられているすべてのユーザーに Enterprise CAL が必要となります。

個人に関連付けられているメニュー項目を変更する

さらに、お客様は特定のアクションを特定のユーザーに割り当てることができます。上の例で、Customer Service Rep ロールに割り当てられた従業員が 20 人いる場合、そのうち 5 人の従業員のみが顧客の与信限度を承認できるようにするには、"Approve customer credit limit" というメニュー項目をこれら 5 人のユーザーに割り当てます。この場合、これら 5 人のユーザーには Enterprise CAL が必要になり、Customer Service Rep ロールに割り当てられている残り 15 人のユーザーには Functional CAL が必要になります。

メニュー項目を作成する

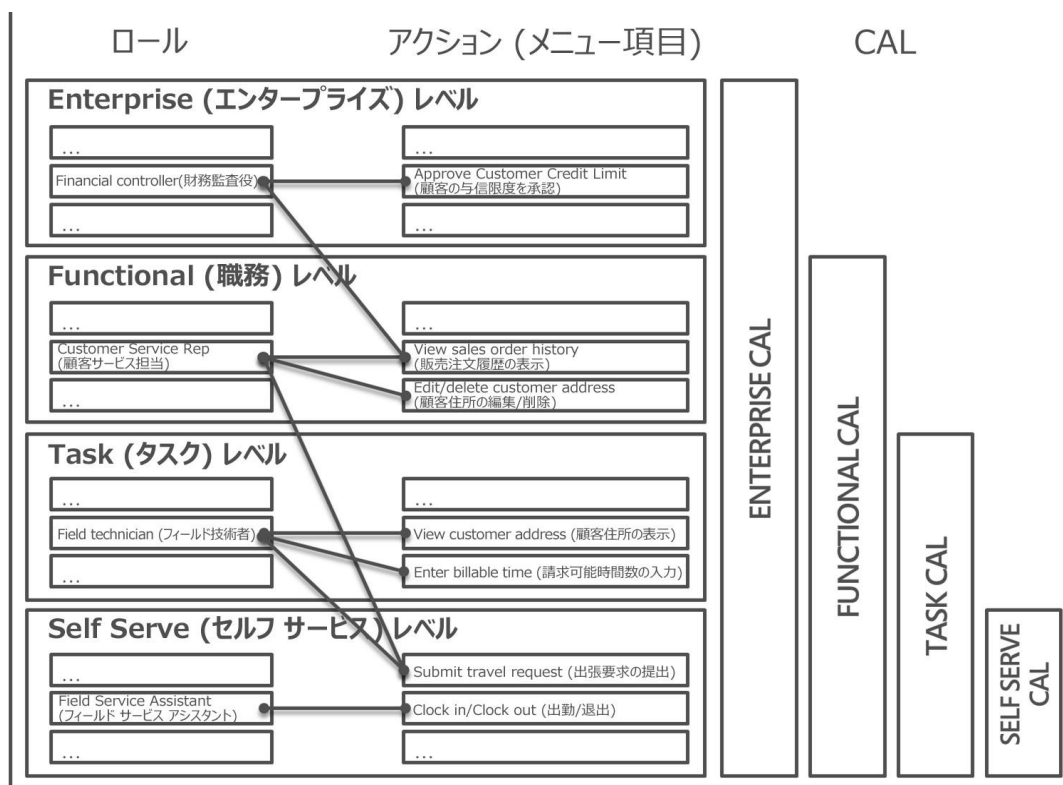
パートナーとお客様は、お客様ごとのシナリオに合うようにメニュー項目を作成することもできます。その場合は、用途に最も適した CAL タイプに新しいメニュー項目をマップする必要があります。使用シナリオから CAL タイプへのマップの詳細については、ソフトウェア ライセンス条項を参照してください。

メモ:

- Microsoft Dynamics AX 2012 R3 に含まれているロールの名前は、実際の肩書きと同じではありません。
- "メニュー項目" とは、ユーザーがフォーム、サブフォーム、または URL をブラウザー アプリケーションで表示したり、システム クラス、関数、ワークフロー、またはユーザーによる Web アクションのトリガーとなるタスクを実行したり、ERP ソリューション内または別のデバイスへの出力を発生させたりするためのものです。各 CAL レベルに関連付けられているメニュー項目の詳細については、[Software Licensing Terms Addendum for Microsoft Dynamics AX 2012](#) を参照してください。
- 各メニュー項目について、"表示" アクセスまたは "管理" アクセスをユーザーに付与することができます。メニュー項目によっては、"表示" アクセスのユーザー タイプ レベルが "管理" アクセスとは異なる場合があります。このような場合、必要な
- CAL は、メニュー項目への具体的なアクセス レベルによって決まります。

図 1: 必要な CAL はメニュー項目へのアクセスで決まる

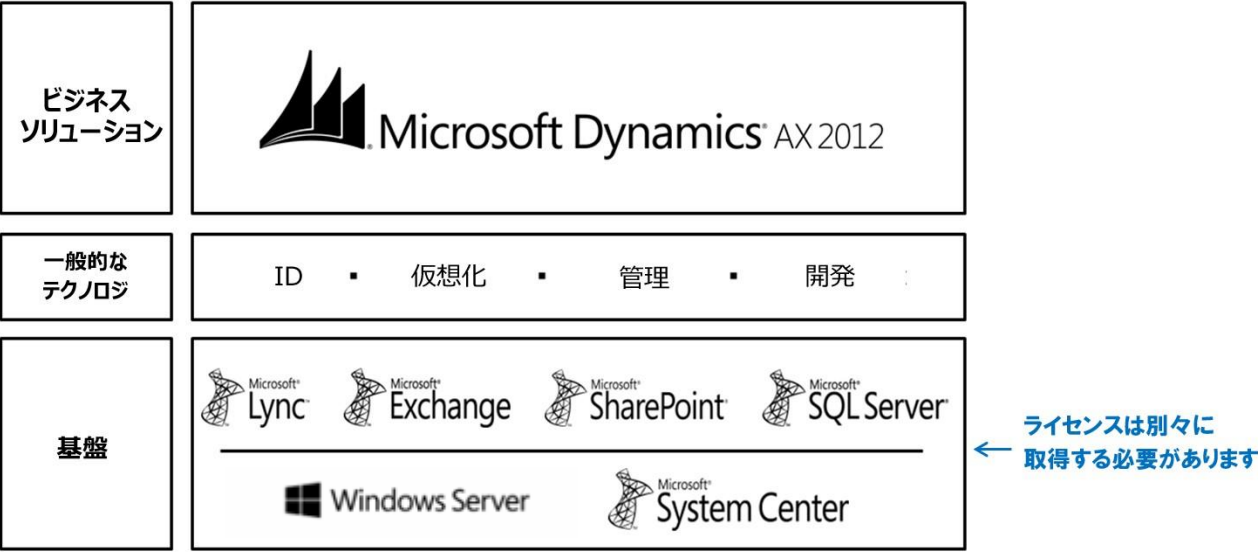
メニュー項目は、いずれかの CAL タイプに分類されます。ある CAL を取得したユーザーは、その CAL タイプまたはそれより下位に分類される各メニュー項目にアクセスできます



付録 II - 追加ソフトウェアのライセンス

Windows Server、Microsoft SQL Server、Microsoft SharePoint Server など、ソリューションに必要となる可能性のある追加ソフトウェアのライセンスおよびこれらに対応する CAL は、Microsoft Dynamics AX のライセンスには含まれていません。これらは別途、その製品のライセンス モデルに従って入手する必要があります。これらのライセンスは、従来のマイクロソフト ボリューム ライセンス チャンネルから購入できます

図 1: 追加ソフトウェアのライセンスは、Microsoft Dynamics AX 2012 R3 のライセンスに含まれていない



付録 III - 適切なライセンスの確認

Microsoft Dynamics のお客様から、ソフトウェア資産管理 (SAM) を組織全体に簡単に実装する方法を知りたいとのご要望がありました。SAM には次のようなメリットがあるためです

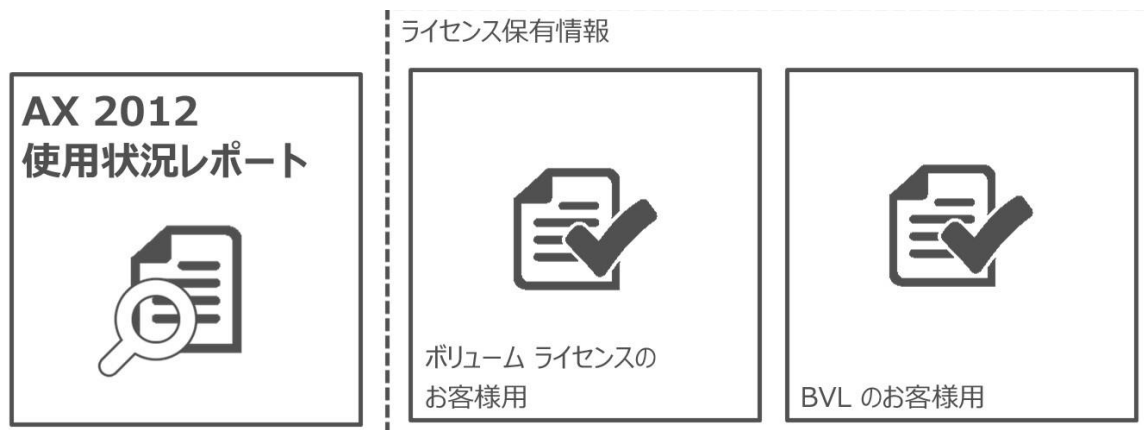
- IT リソースを合理化し、現在と今後の使用環境をより正確に把握および管理できる。
- 組織の全体的なソフトウェア購入ニーズの認識を高め、ソフトウェア ベンダーと協力してこれらのニーズに対応できる。
- 組織の資産管理が容易になるため、情報に基づく意思決定によってリスクを回避し、今後の計画を策定できる。

製品の柔軟性と、その柔軟性によるライセンスへの影響がわかりやすくなるように、レポート機能をアプリケーション内に作成しました。このレポートでは、Microsoft Dynamics AX 2012 R3 に直接アクセスする各ユーザーに関連付けられたメニュー項目をすべて調べて、割り当てられているユーザー数が CAL タイプ別に計算されます。お客様は、Microsoft Dynamics AX 2012 R3 に直接アクセスするサードパーティ ユーザーの数と CAL レベルを調べて、システムで生成されたレポートの数値からこれらのユーザーを差し引く必要があります。また、お客様は、Microsoft Dynamics AX 2012 R3 に間接的にアクセスする内部ユーザーの数と CAL レベルを調べて、システムで生成されたレポートの数値にこれらのユーザーを手動で加算する必要があります。間接ユーザーのアクションは、Microsoft Dynamics AX 2012 が追跡するメニュー項目に関連付けられていないため、間接ユーザーの適切な CAL タイプは、ソフトウェア ライセンス条項または製品使用権に記載されているアクセス権に従って決定する必要があります。

この情報を、ボリューム ライセンス サービス センター (ボリューム ライセンスで購入した場合) または CustomerSource (BVL から購入した場合) から取得したライセンス購入情報と比較することで、ライセンスのギャップを特定できます。加入契約をお持ちでないお客様は、ライセンス購入情報をパートナーから取得できます。

変更が発生するごとに、レポートを作成してライセンス状況を確認することをお勧めします。ただしソフトウェア ライセンス条項では、レポートを年 1 回以上作成すればよいことになっています。お客様は、使用状況レポートを任意でマイクロソフトまたは別の第三者と共有することができますが、義務ではありません。ロール、セキュリティ、およびユーザーのアクセス許可を変更する前と後にレポートを作成すると、ライセンス条件に変更が生じた場合の影響を確認するために役立ちます。

図 1: 使用状況レポートとライセンス購入状況を比較する



ライセンス ギャップの是正

ライセンスの確認を行うと、ユーザー タイプごとに必要なライセンス数と購入数のギャップが明らかになる場合があります。このようなギャップを是正するためのオプションを次に示します。

ライセンス ギャップの是正		
シナリオ	是正策	例
あるレベルの CAL の数が必要数を下回り、下位レベルの CAL の数が必要数を超過しています。	CAL ステップアップで、余分な下位レベルの CAL を上位レベルの CAL に変更します。CAL ステップアップでは、2 つの CAL タイプの差額を支払うことで、下位レベルの CAL を上位レベルの CAL に変更できます。	Enterprise (エンタープライズ) レベルのメニュー項目にアクセスするユーザー数が 20 であるのに対し、Enterprise CAL の数が 10 しかないお客様。また、Functional (職務) レベル (またはそれ以下) のメニュー項目にアクセスするユーザー数は 20 ですが、Functional CAL の購入数が 30 です。このお客様は、差額を支払うことで、余分な 10 件の Functional CAL を Enterprise CAL に変更できます。
あるレベルの CAL の数が必要数を下回っていますが、これらのユーザーに対応できる余分な上位レベルの CAL が同数以上あります。	特にアクションは必要ありません。上位レベルの CAL には、下位レベルのメニュー項目へのアクセスも含まれているため、このお客様のライセンスは不足していません。	Task (タスク) レベルのメニュー項目にアクセスするユーザー数が 40 であるのに対し、Task CAL の数が 32 しかないお客様。また、余分な Functional CAL が 10 件あります。Task CAL を必要とする 8 ユーザー分は、余分な Functional CAL のうち 8 件で対応できます。
あるレベルの CAL の数が必要数を下回っていますが、余分なライセンスがありません。	必要な CAL を追加購入します。	Functional レベルのメニュー項目にアクセスするユーザー数が 25 であるのに対し、Functional CAL が 20 件しかなく、余分な CAL がないお客様。このお客様は、5 件の Functional CAL を追加購入する必要があります。

付録 IV - CAL レベル別セキュリティ ロール

用意されているセキュリティ ロールを変更して、必要なアクティビティにユーザーがアクセスできるように、異なるアクセス権を付与することもできます。このような変更を行うと、必要な CAL に影響することがあります。1 人のユーザーに複数のセキュリティ ロールを割り当てる場合、ユーザーが正しいライセンスを取得するには、レベルが高い方の CAL を購入する必要があります。

ロール	ロール名	説明	CAL
BOMProductDesigner	Product designer (製品設計者)	BOM 構造を新規設計または変更する	Enterprise
BOMProductDesignManager	Product design manager (製品設計マネージャー)	製品の BOM 構造を精査する	Enterprise
BudgetBudgetClerk	Budget clerk (予算担当者)	予算イベントを記録し、予算に関する問い合わせに答える	Enterprise
BudgetBudgetManager	Budget manager (予算マネージャー)	予算プロセスの実績を精査し、予算プロセスを有効化する	Enterprise
CollectionLetterCollectionsAgent	Collections agent (債権回収代行業者)	回収イベントを記録し、回収に関する問い合わせに答える	Enterprise
CollectionLetterCollectionsManager	Collections manager (債権回収マネージャー)	回収プロセスの実績を精査し、回収プロセスを有効化する	Enterprise
CompanyChiefExecutiveOfficer	Chief executive officer (最高経営責任者)	財務実績および業務実績を精査する	Enterprise
CompanyChiefFinancialOfficer	Chief financial officer (最高財務責任者)	財務実績を精査する	Enterprise
ComplianceMgmtComplianceManager	Compliance manager (コンプライアンス マネージャー)	コンプライアンス プロセスの実績を精査し、コンプライアンス プロセスを有効化する	Enterprise
CustInvoiceAccountsReivableClerk	Accounts receivable clerk (売掛金管理担当者)	顧客請求イベントを記録し、顧客の問い合わせに答える	Enterprise
CustInvoiceAccountsReivableManager	Accounts receivable manager (売掛金管理マネージャー)	顧客請求プロセスの実績を精査し、顧客請求プロセスを有効化する	Enterprise

DMFAdministrator	Data import/export framework administrator (データ インポート/エクスポート フレームワーク管理者)	データ インポート/エクスポート フレームワークを管理する	Enterprise
FBTaxAccountant_BR	Tax accountant (税理士)	会計イベントを記録し、会計に関する問い合わせに答える	Enterprise
HcmCompensationAndBenefitsManager	Compensation and benefits manager (給与/福利厚生マネージャー)	給与および福利厚生イベントを記録し、給与および福利厚生に関する問い合わせに答え、給与および福利厚生イベントの財政結果を記録する	Enterprise
HCMFMLAAdministrator	Human Resource FMLA Administrator (人事 FMLA 管理者)	FMLA で離職中の従業員の管理に関係する 情報および機能	Enterprise
HcmHumanResourceManager	Human resource manager (人事マネージャー)	定期的に人事プロセスの実績を精査し、人事プロセスを有効化する	Enterprise
HcmPayrollAdministrator	Payroll administrator (給与管理者)	給与イベントを記録し、給与に関する問い合わせに答え、給与イベントの財政結果を記録する	Enterprise
HcmPayrollManager	Payroll manager (給与マネージャー)	給与プロセスのアクティビティを承認する	Enterprise
InventCostAccountant	Cost accountant (原価管理担当者)	原価、在庫評価、原価計算に関するイベントを記録し、問い合わせに答える	Enterprise
InventCostCostClerk	Cost clerk (原価計算担当者)	原価、在庫評価、原価計算を承認および管理し、原価、在庫評価、原価計算に関する問い合わせに答える	Enterprise
InventMaterialsManager	Materials manager (資材管理マネージャー)	プロセスを有効化および精査し、マスター データを管理し、ロジスティクスおよび資材管理に関する問い合わせに答える	Enterprise
LedgerAccountant	Accountant (経理担当者)	経理イベントを記録し、経理に関する問い合わせに答える	Enterprise
LedgerAccountingManager	Accounting manager (経理マネージャー)	経理プロセス、顧客請求プロセス、仕入先請求プロセス、支払プロセスの実績を精査し、これらのプロセスを有効化する	Enterprise
LedgerAccountingSupervisor	Accounting supervisor (経理監督)	経理プロセスの実績を精査し、経理プロセスを有効化する	Enterprise

LedgerFinancialController	Financial controller (財務監査役)	すべての経理プロセスの実績を精査し、これらのプロセスを有効化する	Enterprise
Mdm	Master data management (マスター データ管理)	マスター データを管理する	Enterprise
PaymAccountsPayableCentralPaymClerk	Accounts payable centralized payments clerk (買掛金集中支払担当者)	買掛金集中支払イベントを記録し、集中支払に関する問い合わせに答える	Enterprise
PaymAccountsPayablePaymentsClerk	Accounts payable payments clerk (買掛金支払担当者)	買掛金支払イベントを記録し、支払に関する問い合わせに答える	Enterprise
PaymAccountsReceivableCentralPaymClerk	Accounts receivable centralized payments clerk (売掛金集中支払担当者)	売掛金集中支払イベントを記録し、集中支払に関する問い合わせに答える	Enterprise
PaymAccountsReceivablePaymentsClerk	Accounts receivable payments clerk (売掛金支払担当者)	売掛金支払イベントを記録し、支払に関する問い合わせに答える	Enterprise
PaymPositivePaymentClerk	Accounts payable positive payment clerk (買掛金支払確認担当者)	買掛金支払確認イベントを記録する	Enterprise
PaymTreasurer	Treasurer (出納係)	会計イベントを記録し、会計に関する問い合わせに答える	Enterprise
ProdProductionManager	Production manager (生産マネージャー)	生産計画を精査し、適切なリソースを確保する	Enterprise
ProdProductionSupervisor	Production supervisor (生産監督)	生産プロセスを有効化する	Enterprise
ProjProjectAccountant	Project accountant (プロジェクト会計担当者)	プロジェクト会計ポリシーを管理する	Enterprise
ProjProjectSupervisor	Project supervisor (プロジェクト監督)	プロジェクトの会計プロセスを有効化および精査する	Enterprise

ReqProductionPlanner	Production planner (生産プランナー)	生産の計画とスケジュール作成を行う	Enterprise
RouteProcessEngineer	Process engineer (プロセス エンジニア)	新製品の作成プロセスを定義する	Enterprise
RouteProcessEngineeringManager	Process engineering manager (プロセス エンジニアリング マネージャー)	新製品、資材、プロセスを精査する	Enterprise
-SYSADMIN-	System administrator (システム管理者)	Microsoft Dynamics AX システムを管理し、システム内のすべてのアーティファクトにアクセスできる (変更不可)	Enterprise
SysSecSecurityAdministrator	Security administrator (セキュリティ管理者)	Microsoft Dynamics AX のユーザーおよびセキュリティの設定を管理し、セキュリティ ロール、職務、特権を作成および管理する能力と、ユーザーをロールに割り当て、ロール割り当てルールを定義し、データ セキュリティ ポリシーを管理する能力を付与する	Enterprise
SysServerITManager	Information technology manager (IT マネージャー)	Microsoft Dynamics AX のサーバーおよびソフトウェアを管理する。バッチ サーバー、負荷分散、データベース、エンタープライズ ポータル、サービス、ワークフローの設定を管理および構成する	Enterprise
TradeCustomer	Customer (external) (顧客 (外部))	法人から製品を購入する	Enterprise
TradeCustomerAdmin	Customer selfservice administrator (external) (顧客セルフサービス管理者 (外部))	法人に対して顧客の役割を果たす外部ユーザーで、外部関係者のアクセスと情報を管理する	Enterprise
TradePurchasingManager	Purchasing manager (購買マネージャー)	購買プロセスの実績を精査し、購買プロセスを有効化する	Enterprise
TradeSalesManager	Sales manager (セールス マネージャー)	販売プロセスの実績を精査し、販売プロセスを有効化する	Enterprise
VendInvoiceAccountsPayableClerk	Accounts payable clerk (買掛金管理担当者)	仕入先請求イベントを記録し、仕入先の問い合わせに答える	Enterprise

VendInvoiceAccountsPayableManager	Accounts payable manager (買掛金管理マネージャー)	仕入先請求プロセスの実績を精査し、仕入先請求プロセスを有効化する	Enterprise
VendVendor	Vendor (external) (仕入先 (外部))	法人に対して仕入先の役割を果たす外部ユーザー	Enterprise
VendVendorPortalAdministrator	Vendor anonymous (external) (匿名仕入先 (外部))	未承諾の仕入先マスター セルフ サービスにアクセスする外部ユーザー	Enterprise
WMSWarehouseManager	Warehouse manager (倉庫マネージャー)	倉庫管理に関するプロセスを有効化および精査し、記録を承認し、マスターデータを管理し、問い合わせに答える	Enterprise
CRMMarketingCoordinator	Marketing coordinator (マーケティング コーディネーター)	マーケティング資料を作成および配布する	Functional
CRMMarketingManager	Marketing manager (マーケティング マネージャー)	製品マーケティングを管理する	Functional
EMSEnvironmentalClerk	Environmental clerk (環境担当者)	環境維持イベントを記録する	Functional
EMSEnvironmentalManager	Environmental manager (環境マネージャー)	環境プロセスを有効化および精査する	Functional
HcmHumanResourceAssistant	Human resource assistant (人事アシスタント)	人事イベントを記録し、人事に関する問い合わせに答える	Functional
HcmManager	Manager (マネージャー)	部下に指示を与える監督者	Functional
HcmRecruiter	Recruiter (採用担当者)	採用イベントを記録し、採用に関する問い合わせに答え、採用イベントの財政結果を記録する	Functional
HcmTrainingManager	Training manager (トレーニング マネージャー)	トレーニング イベントを記録し、トレーニングに関する問い合わせに答え、トレーニング イベントの財政結果を記録する	Functional
InventQualityControlClerk	Quality control clerk (品質管理担当者)	品質管理イベントを記録し、品質管理に関する問い合わせに答える	Functional
InventQualityControlManager	Quality control manager (品質管理マネージャー)	プロセスを有効化および精査し、マスター データを管理し、品質管理に関する問い合わせに答える	Functional

JmgShopSupervisor	Shop supervisor (現場監督)	機器オペレーターが作業内容を把握できるように、日々の指示/ジョブの実行を確認し、機器オペレーターからの主な要求に応える役割を果たす	Functional
ProjProjectClerk	Project assistant (プロジェクト アシスタント)	プロジェクト会計プロセス イベントを記録し、プロジェクト会計プロセスに関する問い合わせに答える	Functional
ProjProjectManager	Project manager (プロジェクト マネージャー)	プロジェクト予測/予算イベントを記録し、プロジェクト予測/予算に関する問い合わせに答える。プロジェクト会計マスター情報を管理し、プロジェクト会計マスター情報に関する問い合わせに答える。プロジェクトの会計プロセス イベントを承認する	Functional
ProjProjectManager_PSN	Project manager - Public Sector (プロジェクト マネージャー - 公共機関)	プロジェクト予測/予算イベントを記録し、プロジェクト予測/予算に関する問い合わせに答える。プロジェクト会計マスター情報を管理し、プロジェクト会計マスター情報に関する問い合わせに答える。プロジェクトの会計プロセス イベントを承認する	Functional
RetailCatalogManager	Retail catalog manager (小売カタログ マネージャー)	本社勤務で、小売カタログを管理および発行する	Functional
RetailMerchandisingManager	Retail merchandising manager (小売マーチャンダイジング マネージャー)	本社勤務で、小売製品およびアソートメントを管理および補充する	Functional
RetailOperationsManager	Retail operations manager (小売業務マネージャー)	本社勤務で、店舗、レジスター、スタッフの構成など、すべての非マーチャンダイジング業務を担当する	Functional
RetailWarehouseClerk	Retail warehouse clerk (店舗倉庫担当者)	店舗または倉庫勤務で、ピッキング、入庫、在庫計算を担当する	Functional
SMAServiceDeliveryManager	Service delivery manager (サービス デリバリー マネージャー)	サービス注文プロセスを精査および有効化する	Functional
TMSLogisticsManager	Logistics manager (ロジスティクス マネージャー)	輸送管理プロセスで使用するネットワーク計画のセットアップ、管理、構成を担当する	Functional
TradeBuyingAgent	Buying agent (買付代行業者)	買付イベントを記録し、買付に関する問い合わせに答える	Functional

TradeCustomerServiceManager	Customer service manager (顧客サービス マネージャー)	顧客サービス プロセスの実績を精査し、顧客サービス プロセスを有効化する	Functional
TradeCustomerServiceRepresentative	Customer service representative (顧客サービス担当者)	顧客サービス イベントを記録し、顧客サービスに関する問い合わせに答える	Functional
TradeSalesClerk	Sales clerk (販売担当者)	販売イベントを記録し、販売に関する問い合わせに答える	Functional
TradeSalesRepresentative	Sales representative (営業担当)	販売イベントを記録し、販売に関する問い合わせに答える	Functional
VendPurchasingAgent	Purchasing agent (購買担当者)	購買イベントを記録し、購買に関する問い合わせに答える	Functional
VendPurchasingAgent_PSN	Purchasing Agent - Public Sector (購買担当者 - 公共機関)	購買イベントを記録し、購買に関する問い合わせに答える	Functional
VendVendorAccountManager	Vendor (external) - Public sector (仕入先 (外部) - 公共機関)	法人に対して仕入先の役割を果たす外部ユーザー	Functional
VendVendorPortalAdministrator_PSN	Vendor portal administrator (external) (仕入先ポータル管理者 (外部))	法人に対して仕入先の役割を果たす外部ユーザーで、外部関係者のアクセスと情報を管理する	Functional
VendVendorProspect	Vendor portal administrator (external) - Public sector (仕入先ポータル管理者 (外部) - 公共機関)	法人に対して仕入先の役割を果たす外部ユーザーで、外部関係者のアクセスと情報を管理する	Functional
VendVendor_PSN	Vendor prospect (external) (見込み仕入先 (外部))	法人に対して仕入先の役割を獲得しようとしている外部ユーザー	Functional
WHSWarehousePlanner	Warehouse planner (倉庫プランナー)	Warehouse planner (倉庫プランナー)	Functional
InventReceivingClerk	Receiving clerk (入庫担当者)	入庫業務イベントを記録し、入庫業務に関する問い合わせに答える	Task
InventShippingClerk	Shipping clerk (出荷担当者)	出荷業務イベントを記録し、倉庫からの出荷業務に関する問い合わせに答える	Task

JmgMachineOperator	Machine operator (機器オペレーター)	製造オーダーに従って作業し、製造実行システムに登録する	Task
LeanWaterspider	Waterspider (ウォータースパイダー)	生産ラインでのインベントリ ニーズに 応える	Task
ProjTimesheetUser	Project timesheet user (プロジェクト タイムシート ユーザー)	プロジェクト タイムシートの作成と 承認を有効化する	Task
RetailStoreManager	Retail store manager (小売店 舗マネージャー)	店舗勤務で、売上レポート、在庫移 動、在庫数量の管理などの店舗管理業 務を担当する	Task
SMADispatcher	Dispatcher (ディ スパッチャー)	サービス技術者を取りまとめ、サービ ス注文の優先順位を決める	Task
SMAFieldServiceTechnician	Field service technician (フィー ルド サービス技術 者)	顧客を実地訪問し、注文されたサービ スを実施する	Task
TMSTransportationCoordinator	Transportation coordinator (輸送 コーディネーター)	輸送プロセスの入荷、出荷、評価、 ルート指定、処理を有効化する	Task
WMSWarehouseWorker	Warehouse worker (倉庫作業 者)	倉庫業務イベントを記録し、倉庫業務 に関する問い合わせに答える	Task
HCMEmployee	Employee (従業 員)	法人に対して従業員の役割を果たす作 業者	Self Serve
AnonymousApplicant	Applicant anonymous (external) (匿名応募者 (外 部))	求人に応募する外部ユーザー	なし
AnonymousCustomer	Customer anonymous (external) (匿名顧客 (外部))	顧客ポータルで、販売カタログに公開 されている製品を閲覧する	なし
ConnectorAdministrator	Connector administrator role (コネクタ管理者 ロール)	コネクタ API へのアクセスを管理す る	なし
Guest	Guest (ゲスト)	Guest (ゲスト)	なし
HcmContractor	Contractor (契約 社員)	法人に対して契約社員の役割を果たす 作業者	なし

JmgAdvTimeWorker	Time registration worker (時間登録 作業者)	時間登録の高度な機能を使用できる作業者	なし
SysBusinessConnectorRole	BusinessConnector ロール	ユーザーが Business Connector に ログオンできるかどうかを決定するために使用するロール	なし
SysSearchCrawler	Search crawler (検索クローラー)	検索クローラー ロールの権限を定義する	なし
SystemUser	System user (システム ユーザー)	全ユーザーのシステム ロール	なし
VendVendorAnonymous	Vendor account manager (仕入先 アカウント マネージャー)	仕入先イベントを記録し、仕入先の問い合わせに答える	なし
WHSMobileDeviceService	Warehouse mobile device user (倉庫用モバイル デバイス ユーザー)	倉庫用モバイル デバイス ポータル サービスへのアクセスに使用する	なし

重要事項

- セキュリティ ロールが割り当てられている外部ユーザーには、CAL は不要です。
- Microsoft Dynamics AX 2012 R2 サーバーには Management Reporter 機能が含まれています。使用権を取得するには、Management Reporter のデザイナーに Enterprise CAL、Management Reporter のビューアーに Functional CAL が必要です。
- サーバー ライセンスには Microsoft Forecaster 機能が含まれています。Microsoft Forecaster にアクセスするユーザーには、Functional CAL が必要です。

このドキュメントに記載されている情報は、このドキュメントの発行時点におけるマイクロソフトの見解を反映したものです。市場の状況変化に対応するため、ドキュメントの発行後にも記載されている情報の正確さをマイクロソフトの一部もしくはマイクロソフトが保証することを約束するものとしてこのドキュメントを解釈するものではありません。このドキュメントに記載された内容は情報の提供のみを目的としています。明示、黙示または法律の規定にかかわらず、このドキュメントの情報についてマイクロソフトはいかなる責任も負わないものとします。

©2015 Microsoft Corporation. All rights reserved.